

グループの旗

Dコース: 5 グループ

グループのネーミング
アウトドア

シンボルマーク



202⁴~~3~~年 3月 26日

チーフアドバイザー
田村 利明
アドバイザー
岩切 健二

役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	福永 俊樹	株式会社 アイシン
2	サブリーダー		
3	発表者	大串 圭太	フタバ産業株式会社
4	質問者	後藤 玲音	ゴムノイキ 株式会社
5	書記 1	岡本 光司	トヨタ紡織株式会社
6	書記 2	杉浦 葵衣	三栄工業 株式会社
7	時間係・5 S	鈴木 智也	株式会社 オデックス
8			
9			

グループの決め事

No	内 容	評 価
1	みんなが積極的に発言する	○
2	みんなで時間を守る	○
3	他人の意見を否定しない	○
4	ポジティブワードを意識する	○
5		

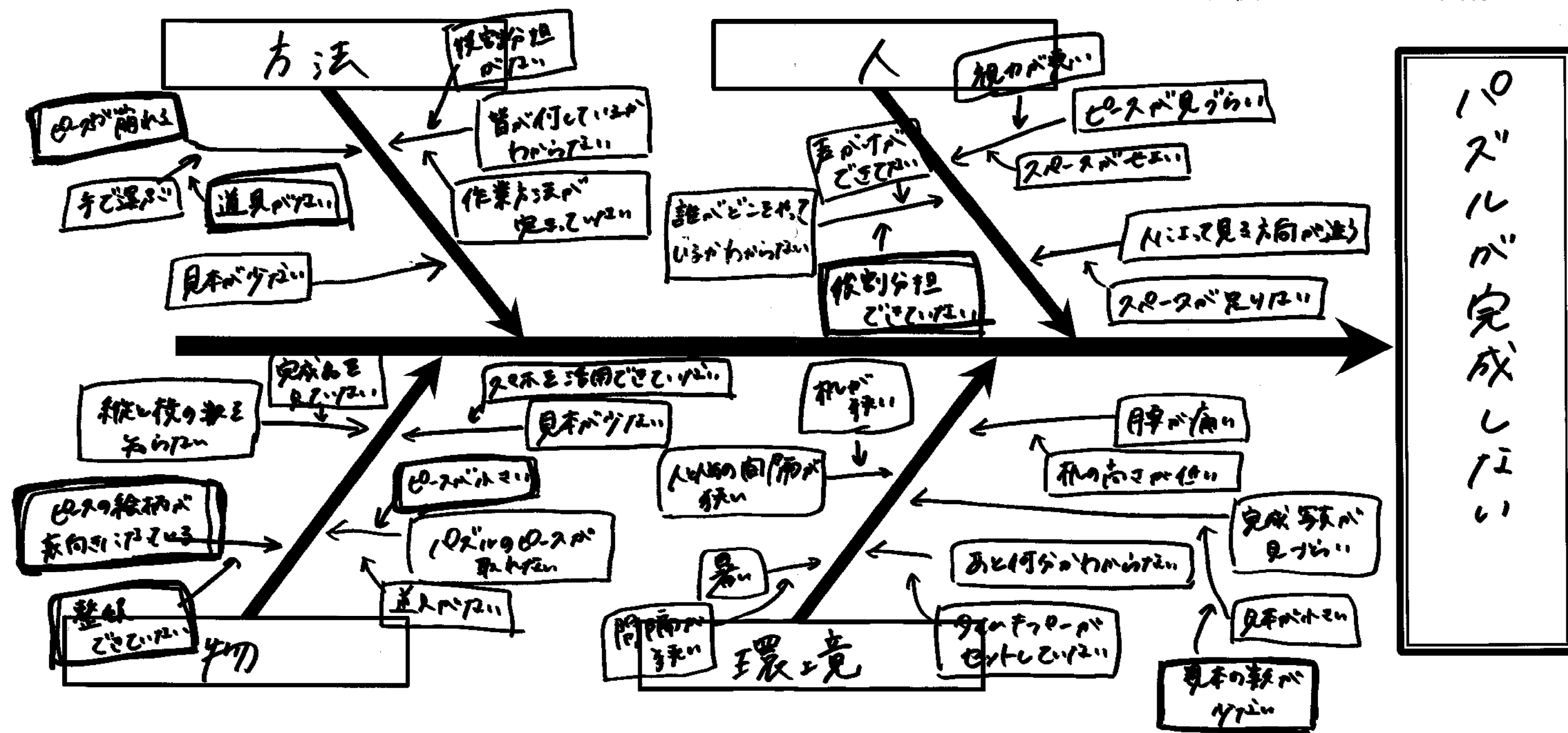
★活動終了時に全員で評価を実施します

★評価は、○、△、×等で記入

※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう!

【現状把握】

【目標設定】



系統図 & マトリックス図による対策の立案

〔評価基準〕

◎：5点

○：3点

△：1点

×: 〇点

一次手段	二次手段	総合評価				
		効果	経済性	実現性	評価点	採否
運搬時の道具を用いる	・74373412を用いる	○	◎	◎	13	○
	・下びきを用いる	◎	◎	◎	15	○
	A4用紙を用いる	△	◎	◎	11	
コースを整頓する	最初に全て表向きにする(開始時)	◎	◎	◎	15	○
	色ごとに分ける	◎	○	○	11	
	ジャンルごとに区別しておく	◎	△	△	7	
作業者ごとに役割分担を決める	作業者ごとに作成エリアを分ける	◎	△	×	6	
	・机や、チャーターごとに分ける	◎	○	○	11	○
見本の数を増やす	・スリッパで見本を撮影	◎	◎	◎	15	○
	見本をコピーする(人数分)	◎	○	◎	13	
	見本を借りてくる(他チーム)	◎	◎	×	10	
コースを大きくする	事務局に相談する	○	○	×	6	
	事前に全て表向きにしておく	◎	◎	×	10	

パズルを完成させるには

- ・クリスチアルを用意する
- ・最初い金と表向きにする
- ・下バチを用意する
- ・木や草のクダ-ゴトに分担する
- ・スミホで見本を撮果する

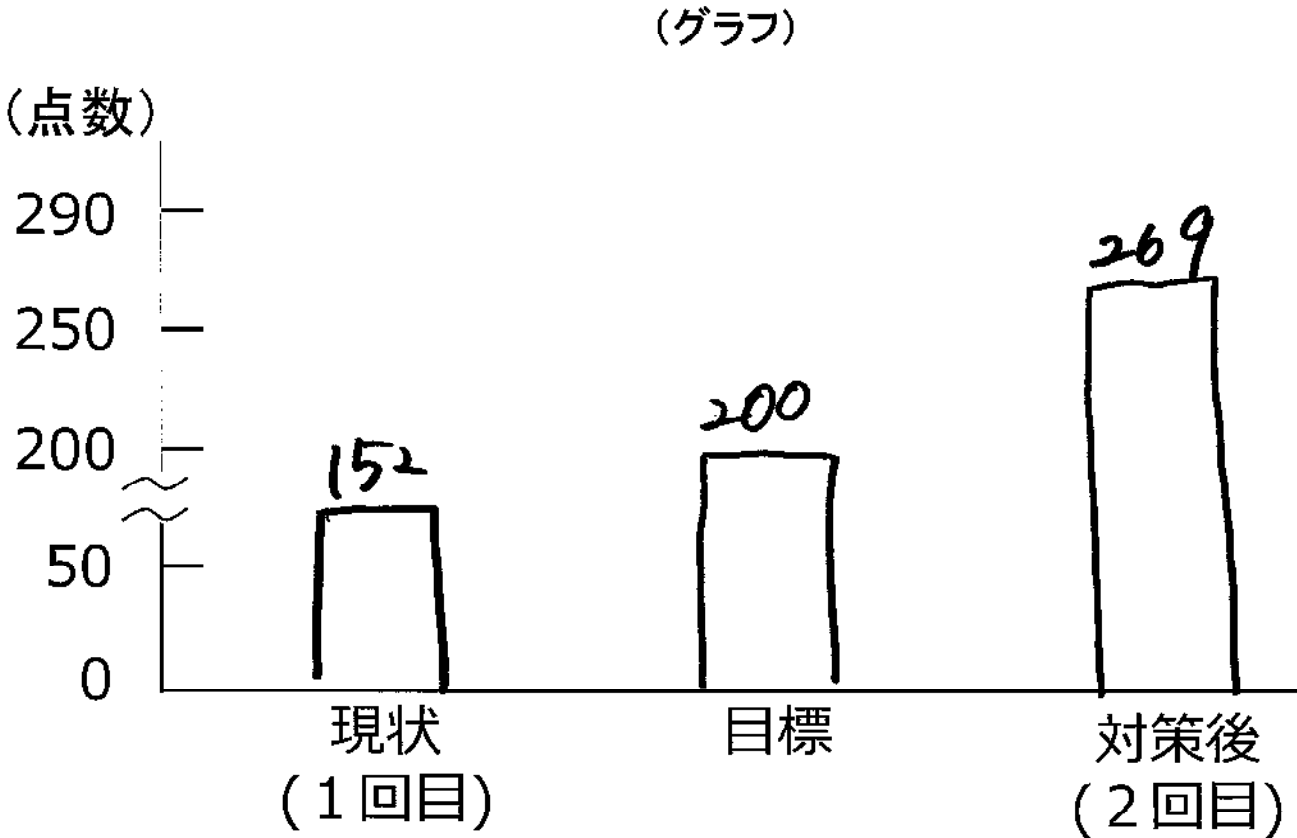
目標	完成・結合ピース合計 (225) ピース	完成タイム・制限時間 (25) 分	得点 (200) 点
----	---------------------------	------------------------	-----------------

[illegible]

3. まとめ

【効果の確認】 対策効果を確認

	完成・結合 ピース合計	所要時間 (分)	得点 (点)
目標	225 ピース	25 分	200 点
結果	294 ピース	25 分	269 点



【標準化】 5W1Hで明確に

なぜ(目的)	何を(項目)	誰が(担当)	何処で(場所)	どのように(方法)	いつ(期間)
パズルを早く 組み立てる	ピースを 見本を ピースを クイズブックを 下書きを	全員が 全員が 全員が 全員が 全員が	テーブルで 作業エリアで テーブルで テーブルで テーブルで	表向きにする スマホのカメラで撮影 クイズブックとに分けて スライドさせて移動する スライドさせて移動する	開始直後 事前に 開始直後 ピース移動時に ピース移動時に

最後に対策を標準化して、管理の定着まで行います。
標準化して決めたことを、維持していくしくみ(チェック機能)まで決め、不具合が再発しないようにします。

初級コース研修で分かった事

学んだ事・気づいた事

【例】◆問題解決の手順がわかった
◆よく使うQC手法、特性要因図や系統図、マトリックス図の使い方を知った

- ・特性要因図、特性は、結果を表記すること
- ・職種によらず同じ視点があること
- ・特性要因図にエッセンスを使うことで、エッセンス意見が出るので、大変効果的
- ・自主的に発言し行動することの大切さ
- ・どんな場面でも深掘りすること、要因が見えてくる
- ・他の人の意見を批判しないことにより、他人を理解することになり、チームワークが深まること
- ・役割割り分担することにより、スムーズな話し合いが行える

一人ひとりの決意表明

【例】自ら積極的に会合へ参加し、勉強会を開きます。

- ・自サークルでも、今回学んだ特性要因図の作成方法を展会し、サークルのレベルを固めます。 福永俊樹
- ・難しくQCサークル活動も考えず、今日学んだ様に、解決する楽しさをメンバーに味わってもらえる様頑張ります。 岡本光司
- ・ブレインストーミングをバババ、自主的に発言、行動しサークル活動が活性化するようにしていきます! 杉浦繁樹
- ・何か困り事があった場合一人で考えず、今日学んだ特性要因図などを活用して進めていきます。 大串圭太
- ・QCサークル研修会ではメンバーとして参加したため、今回各メンバーの役割分担をより細く、メンバーに任せようリーダーを務めていきます。 後藤玲音
- ・自サークルでも今回学んだQC手法を上手く活用し、QCサークル活動を円滑に進めていきます。 鈴木智也